

製品名: IL-5 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab12562

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	IL5
別名	IL5; Interleukin-5; IL-5; B-cell differentiation factor I; Eosinophil differentiation factor; T-cell replacing factor; TRF
遺伝子 ID	3567.0
SwissProt ID	P05113
免疫原	抗血清はヒト IL-5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 43-92

背景

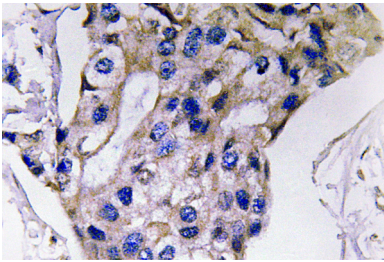
この遺伝子は、B細胞と好酸球の両方の成長および分化因子として働くサイトカインをコードしています。コードされているサイトカ

インは、好酸球の形成、成熟、動員および生存の調節において主要な役割を果たしています。このサイトカインの産生増加は、好酸球依存性炎症性疾患の発症に関係している可能性があります。このサイトカインは、 β サブユニットがインターロイキン3 (IL3) およびコロニー刺激因子2 (CSF2/GM-CSF) の受容体と共有されているヘテロ二量体である受容体に結合して機能します。この遺伝子は、インターロイキン4 (IL4)、インターロイキン13 (IL13)、およびCSF2を含むサイトカイン遺伝子クラスター内の5番染色体に位置しています。この遺伝子、IL4、およびIL13は、染色体5q31上の120キロベースに広がる長距離調節エレメントによって協調的に調節されている可能性があります。 [RefSeq 提供、2013年7月],機能:後期 B 細胞の免疫グロブリン分泌細胞への最終分化を誘導する因子。 ,オンライン情報:インターロイキン-5 エントリー,類似性:IL-5 ファミリーに属する。 ,サブユニット:ホモ二量体;ジスルフィド結合。 ,

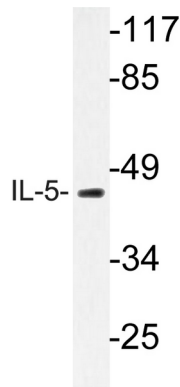
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、Jak_STAT、造血細胞系譜、T細胞受容体、Fcイプシロン RI、IgA 産生のための腸管免疫ネットワーク、喘息、自己免疫甲状腺疾患、同種移植拒絶反応、

画像データ



パラフィン包埋ヒト乳癌組織における IL-5 抗体の免疫組織化学分析。



IL-5 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



IL-5 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

